総合人間科学研究科の特徴

総合人間科学研究科は心理学専攻、人間学専攻、公共社会学専攻、健康栄養科学専攻からなっています。これら４つの専攻は、時代が大学院に求める高度な社会的かつ教育的な役割の期待に積極的に応えて、「心と行動」、「人間の共生」、「公共と社会」、「健康と食」に関する多様な問題や課題解決のために、指導的な役割を担う高度な専門職業人や、人間に関する諸問題へ柔軟に対応できる高度で知的な素養のある人材を育成することを目的としています。学部教育の基礎の上に立って、より発展的で連続性を持ったカリキュラム及び教育方法・指導が準備されています。

総合人間科学研究科ディプロマ・ポリシー

総合人間科学研究科では、下記の能力を身につけた人材を養成します。

１．課題の探究と解決を行うための自立性、創造性、探究心を養う能力
２．人類の福祉に対して、社会人として自ら考えて行動できる能力
３．国際人としてのグローバルな視点を持ち、異文化を理解し尊重できる能力

各専攻のカリキュラム表記載の学修目標ついて
各科目で身につく力について、以下の通り記載しています。
・研究科到達目標：総合人間科学研究科ディプロマ・ポリシー１～３と対応
・専攻到達目標：各専攻のディプロマ・ポリシー１～５と対応